

2016年11月7日

各 位

レーザーテック株式会社

東証第一部・コード 6920

代表者名 代表取締役社長 岡林 理

SiC ウェハ欠陥検査/レビュー装置「SICA88 シリーズ」

販売開始から1年で10台の納入が決定

レーザーテック株式会社(東証第一部 証券コード番号 6920)は、2015年9月に販売を開始した「SiC ウェハ欠陥検査/レビュー装置 SICA88 シリーズ(量産機)」が販売から約1年で、10台の納入が決まりましたことをお知らせいたします。

次世代パワーデバイスは急速に高まる省エネルギーへのニーズを受け、需要の裾野が広がっています。なかでもSiCデバイスはパワーエレクトロニクス市場において重要な位置を占め、各自動車メーカーは、小型化や電力損失を低減できるなどの利点から、SiC デバイスの採用に積極的に取り組んでいます。これにより、日本をはじめヨーロッパや世界各地の SiC 基板メーカーおよびデバイスメーカーは今後の市場拡大を見込み、2020年頃の本格量産に向けて開発を加速しています。

SiC デバイスの重要課題である低価格化や高効率化を進めていくうえで、当社の SICA88 シリーズは SiC ウェハの品質を飛躍的に向上させる装置として高い評価を受け、販売後わずか1年で10台の導入が決まりました。本装置は、ウェハの表面検査と PL(フォト・ルミネッセンス)検査の機能を1台に搭載し、表面と内部にある欠陥の両方を検出可能としました。また高解像度レビュー画像の取得と同時に自動識別機能(ADC)で高精度分類が行えます。SICA88 シリーズは、SiC ウェハメーカーの品質管理や製品のランク付け、デバイスメーカーの生産技術開発やウェハの受入れ検査などに貢献しています。

「SICA88 シリーズは、ローム株式会社や昭和電工株式会社をはじめとした日本の主要な SiC 関連メーカーに導入されており、さらには業界をリードする複数の欧米トップメーカーへも納入済みです。今なお多くの引き合いを受けており、2台目、3台目を導入されるお客さまも増えています。このように短期間に装置導入が進んだことは、SICA がお客様にとっていかに有益であるかを証明しています。今後は SiC デバイスの量産化が進み、市場は急速に拡大すると言われていています。レーザーテックは SICA88 を通して SiC デバイスの品質向上に貢献していきます。」(関 寛和 技術一部部長)

◇お問い合わせ先◇

〒222-8552 横浜市港北区新横浜 2-10-1

レーザーテック株式会社

第1ソリューションセールス部 マネージャー 神山 弦一郎

TEL:045-478-7337 FAX:045-478-7333 E-mail: sales@Lasertec.co.jp